

2010年度 第46回

日本経団連洋上研修

2010年10月5日(火)～12日(火) 8日間

横浜～仁川（韓国）～横浜

総合テーマ

強い組織・熱い職場をつくる



異業種リーダーと語らい、自らを磨く
洋上研修ならではの出会いと自己変革

日本経団連洋上研修は、クルーズセミナーの嚆矢として1970年にスタートしました。日常の生活とは隔絶した環境のなかで、異なる企業、異なる職種、異なる年代の職場リーダーが寝食をともにしながら、徹底したグループ討議や経験交流によって自らの変革を実感します。洋上ならではの夢の共有、体験の共有、成長の共有があります。



総合テーマ

強い組織・熱い職場をつくる

いま求められているのは、逆風に力強く立ち向かっていく変革型リーダーです。教え合い、学び合う組織、ワクワク感のある組織を再生するために何をすべきか。徹底したグループワークの切磋琢磨の中で、自分の限界を切り拓いていきます。「強い組織・熱い職場づくり」をめざして、新しいリーダー像や職場活性化の条件などを探ります。

研修目的

- ① 管理者・監督者の責務を再認識するとともに、変革に挑戦していくマインドを育てます
- ② 団体生活によって職場リーダーにふさわしい規律性、責任感、協調性、積極性を涵養します
- ③ 変化の潮流を知り、的確な状況判断の仕方や問題解決の方法を学びます
- ④ グループ討議を通じて、幅広いコミュニケーション能力や人間関係を身につけます
- ⑤ 海外の異なる文化や価値の多様性に触れることでグローバル感覚を磨きます
- ⑥ 日常を離れた時空間で自身の生き方、働き方を振り返り、キャリアのあり方を考えます

研修内容

- ◆ **研修ガイダンス**
研修の目的や意義、進め方などについて全員で確認します
 - ◆ **課題研修**
討議テーマの決定から行動計画の策定まで、グループごとに討議しながら進めます
 - ◆ **マネジメント講座**
アドバイザー、講師が総合テーマに関連して講義を行ないます
 - ◆ **コース別講座**
管理者コース、監督者コースに分かれて実務的な講義を行ないます
 - ◆ **寄港地研修**
国際ビジネス・学術の拠点として開発が進む仁川広域市の経済自由区域(IFEZ)や現地企業などの訪問を通じて、隣国の急成長の秘けつに学びます。
- その他、名誉団長による「名誉団長講話」、朝礼時に運動を兼ねたレクリエーションの実技指導、任意参加型の「韓国語会話講座」「星座教室」なども予定しています



日程

●第46回洋上研修日程(予定)

日程	入出港	朝	午前	午後	夜
10/ 5(火)	横浜出港 12:00	乗 船 9:30	研修ガイダンスⅠ 結団式・壮行式	研修ガイダンスⅡ 課題研修	ウェルカムパーティー
10/ 6(水)		朝礼・レク	マネジメント講座	課題研修	選択研修
10/ 7(木)		朝礼・レク	名誉団長講話 コース別講座	課題研修	選択研修
10/ 8(金)	仁川入港 7:00		寄港地研修	自由時間 オプションツアー	
10/ 9(土)	仁川出港 20:30		自由時間 オプションツアー	自由時間 オプションツアー	
10/10(日)		朝礼・レク	マネジメント講座 コース別講座	課題研修	選択研修
10/11(月)		朝礼・レク	課題研修	課題研修 報告会	フェアウェルパーティー
10/12(火)	横浜帰港 14:00	朝礼・レク	研修修了式 班別総括会	下 船 14:15	

コース・募集対象・定員

- ◆ **募集コース**
 - ・ 管理者コース
(営業、事務などに携わる職場リーダー)
 - ・ 監督者コース
(生産、技術などに携わる現場リーダー)
- ◆ **募集対象**
 - ・ 企業・団体・労働組合の管理者・監督者、若手リーダー
- ◆ **募集定員**：250名

課題研修の内容

- ・洋上研修の中心となる課題研修（グループ討議）の内容と流れは下記の通りです
- ・民間企業教育担当マネージャーがコーディネーターとして助言、指導などを行ないます

討議テーマの設定・分析

職場で当面する問題を持ち寄り、どのようなテーマで討議するかを決定。設定したテーマに関して社内外の環境について分析します

研修課題の決定・発表

討議テーマの意義を社会、会社、個人などの側面からも検討し決定。これまでの討議について振り返ります

職場の現状分析

職場のあるべき姿といまの姿はどのようになっているか、比較・整理します

克服すべき課題の整理

職場の現状分析を踏まえて、理想と現実のギャップを明らかにし、解決すべき課題は何かを考えます

行動計画の策定

解決すべき課題に対して、自分たちはどのように行動すべきかを短期・中長期計画に分けて策定します

参加者の声

- ◎職場の問題を話しているうちに、同じ悩みをもつ同様の立場の人たちが多くことに驚いた。同年代の前向きな人に数多く出会い、じっくりと議論ができてよかった
- ◎皆と討議をしていると、自分自身の足りない部分に気づかされた。今後は努力したい
- ◎引込み思案で、以前は人前で自分の意見を発表することなどできなかったが、発言をみんなが真剣に聞いてくれたせいか、とても自信がついた
- ◎最初は知らなかった人たちとこんなに早く打ち解けられるものかと驚いた。業種も年齢も違う人たちと親しくなれてよかった。このネットワークを公私ともに活かしていきたい
- ◎講師の講演が身近な問題でとてもためになった。内容もすばらしく先生の熱心な話しぶりにも感動した。また聞きたい
- ◎寄港地研修の I F E Z 訪問では、日本の方が優れていると思って最初は気乗りしなかったが、実際に行ってみて驚いた。国家あげてのプロジェクトで韓国のパワーを強く感じた。日本もうかうかしてられない
- ◎研修発表会でのすばらしい発表を聞いているうちにすごく感動した。自分が今まで何も勉強をしていないことに気づかされて愕然とした。帰ってから勉強したい
- ◎修了式は終わったという安ど感とともに、せっかく知り合えた仲間との別れがきてしまったと、思わず涙がでた

団役員・講師

◆名誉団長



坂根正弘（コマツ会長）

大阪市立大学工学部卒業後、コマツ入社。01年社長就任。07年より現職。日本経団連環境安全委員会委員長。10年より日本経団連副会長就任予定。著書「限りないダントツ経営への挑戦」

◆アドバイザー



野田 稔（明治大学大学院教授）

一橋大学大学院修士課程修了。野村総合研究所経営コンサルティング一部部長、多摩大学教授を経て08年より現職。NHK「Bizスポワイド」メインキャスター。著書「組織論再入門」

◆アドバイザー



高橋克徳（ジェイフィール代表）

一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。野村総合研究所、ワトソンワイアットにて、組織・人事コンサルティングに従事。07年ジェイフィール設立に参画、10年より現職。著書「職場は感情で変わる」

◆講師



柿内幸夫（改善コンサルタンツ常務取締役）

東京工業大学工学部卒業後、日産自動車入社。スタンフォード大学にて修士課程修了。92年より改善コンサルタンツのチーフコンサルタントとなる。06年慶応大学で工学博士を取得。著書「現場のコトバ」

名誉団長所感

（第45回洋上研修名誉団長 オムロン相談役 立石信雄）

歴史と伝統のある日本経団連洋上研修は第45回を迎えた。経済が厳しい中であってこそ、人材育成の重要度が一層高まる。この研修には全国各地の企業・団体から中堅・若手の管理・監督者が集い、横浜～仁川（韓国）～横浜の往復8日間のクルーズに参加した。

私は名誉団長として乗船したが、その感想を端的に言えば、周到で充実したプログラムが組まれていたということに尽きる。内容を見ると、座学のほか、多くの時間を班・グループ別の課題研修に割り、団員同士の切磋琢磨がより重要視されていた。つまり、オン・オフの時間を問わず、全員での本音トーク・徹底討議を通じて団員たちが日増しに打ち解け、虚心坦懐に職場の悩みや課題を語り合い共有していき、課題を正面から見つめ全員の考えを出し合って解決に当たる、といった形で進められていった。また、これらのプログラムを支えたのは、グローバルに活躍する講師陣、そして企業の現場で人材育成に当たる経験豊富なコーディネーターたちである。

後半の日程では、課題研修がよい佳境に入った。私ではできる限りそれぞれのグループ討議を傍聴し、団員との忌憚のない対話を試みた。今回の各グループのほとんどは人を育てることに直結するテーマ設定であった。言うまでもなく、「企業は人なり」であり、組織を強く、職場を熱くするには、組織・職場の全員野球が必要である。一人ひとりの表情は真剣そのものだった。若手のパワーと熱意に私も強く感動した。

市金工業社/NA Aファシリティーズ/OS/大分銀行/岡山ガス/キャノン/九州
 オーエム/共栄工業/キリンエコー/キリンビール/近畿電気/銀泉/工学院大学/
 鴻池運輸/国際研修協力機構/寿産業/雇用能力開発機構/産業雇用安定センター
 /サンシャインシティ/三洋化成工業/CSSホールディングス/芝本産業/首都
 高速道路/セントラル警備保障/ダイキン工業/大洋印刷/大日本住友製薬/立飛
 企業/中電工/筑波学園ガス/土屋組/東亜工機/東京急行電鉄/東京信用保証協会
 /東京電設サービス/東京トヨペット/東京楽天地/東武鉄道/東邦精麦/東洋埠頭
 /トクヤマデンタル/巴コーポレーション/豊蔵組/トヨタ名古屋教育センター/
 トラベラー/中日本高速道路/中村自工/南総通運/新潟日報販売/日経茨城製作
 センター/日経大阪製作センター/日経首都圏印刷/日経東京製作センター/日本
 原子力研究開発機構/日本新薬/日本通運/日本ニューホランド/日本メックス/
 日本ユニカー/東日本トランスポート/東日本旅客鉄道/久光製薬/日立製作
 所/ヒロセ電機/福井トヨタ自動車/北陸電気保安協会/三菱化学/三菱電機特機
 システム/三菱マテリアル/宮津製作所/名糖運輸/ヤナセテック/リンクレア
 (五十音順)



大型客船「ふじ丸」(2万3235トン/日本チャータークルーズ所属)

ご参加について

募集コース

- ◆管理者コース (営業、事務などに携わる職場リーダー)
- ◆監督者コース (生産、技術などに携わる現場リーダー)
- ・募集定員は両コース合わせて250名となります
- ・課題研修でのグループ編成は管理者コース、監督者コース別に行ないます
- ・若手リーダー、労働組合メンバーの方もいずれかのコースに所属します

参加費

- ◆船室2人部屋 398,000円(税込)
- ◆船室1人部屋 498,000円(税込)
- ・参加費はお1人様の代金です
- ・5~9名参加の場合は5%引き、378,100円(税込、2人部屋)、10名以上参加の場合は10%引き、358,200円(税込、2人部屋)となります
- ・1人部屋ご希望の場合は、船室に限りがありますのでお早めにお申し込みください
- ・同一企業から複数お申し込みの場合の相部屋の指定はお受けできません
- ・部屋割りはできるだけ公平に行ないますが客船のため、同じ階数、同じタイプの部屋をご用意できないことがあります
- ◆参加費に含まれるもの
- ・船賃、研修日程中の食事代、研修および研修教材費、寄港地研修費、渡航事務手続代、海外旅行団体保険料、国内消費税
- ◆参加費に含まれないもの
- ・旅券取得印紙代、国内交通費、前泊宿泊費、任意の海外旅行保険料、オプションツアー代、個人的飲食代、クリーニング代、電話代

お申し込み方法

- ・別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**8月27日(金)**までにお申し込みください
- ・「参加申込書」はファクシミリまたは郵便でお送りください
- ・「参加申込書」を受領次第、ご請求書をお送りいたします。その後、取扱旅行代理店より渡航手続きに関するご案内書類一式をお送りいたします
- ◆参加のお取消し
- ・参加申し込み後の取消しについては1名につき次の取消料をご負担いただきます
 9月4日以降80,000円、9月18日以降180,000円、出港前日300,000円、出港当日全額
- ◆その他
- ・体調等にご懸念がある場合には事前に事務局までご相談ください
- ・渡航手続きに関する事項、前泊、オプションツアーについては後日、旅行取扱代理店より別途ご案内いたします
- ・天災地変、社会騒擾、官公署の命令、疾病の発生などにより研修を中止または日程や内容を変更する場合があります
- ・お預かりした個人情報、当法人の個人情報保護規定などにもとづき適正に管理いたします

日本経団連事業サービスホームページ：<http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp/>

内容についてのお問い合わせ

日本経団連事業サービス 「洋上研修」係

TEL.03-6741-0042

FAX.03-6741-0052

受付時間/9:30AM~5:00PM(土日・祝休み)

洋上研修のブログを開設しました。

<http://jigyoservicekensyu.blog11.fc2.com/>

「日本経団連洋上研修」に関する情報や参加者の声などをお伝えしていきます。現在、2009年度に実施した第45回における講演の要旨、寄港地研修報告、名誉団長所感などを掲載しています。